

とちぎ女性活躍推進プロジェクト2019【栃木県】

地域の実情と課題

- 女性の就業率は、20代後半の女性は80.5%であるのに対し、30代前半の女性は70.5%
- 男性雇用者の非正規割合24.8%に対し、女性雇用者は56.5%
- 管理的職業従事者に占める女性の割合が16.1%で全国平均16.4%を下回っている。
- 社会全体で男性が優遇されていると感じる割合63.2%
- 育児休業制度整備率83.4%に対し、男性育児休業取得率4.0%

事業の特徴

- オール栃木体制で女性活躍を含む働き方改革に取り組むため、官民連携による「とちぎ女性活躍応援団」の運営
- 女性活躍専用サイト「とちぎウーマンナビ」で、企業や活躍する(したい)女性等に、取り組むきっかけとなる情報を一元的に提供
- 男性の意識改革、キャリアアップ、就職相談等、様々な視点から女性活躍を進める事業メニュー

事業の効果

- 「とちぎ女性活躍応援団」の登録企業数を伸ばすなど、女性活躍の機運醸成につながった。
- 男女生き活き企業認定・表彰事業により、企業が女性活躍や働き方見直しに取り組むきっかけを作ることができた。
- キャリアアップ支援講座や就職相談、男性の意識改革講座等の様々な実施により、女性が働きやすい環境の醸成につながった。

目的・目標

- オール栃木体制で、活躍する(したい)女性を支援する。
- ・とちぎ女性活躍応援団登録企業等数 926(目標800)
 - ・男女生き活き企業認定・表彰企業数 36(目標80)
 - ・男性の育児休業取得率4.0% (目標7.0%)
 - ・職業紹介による女性就職率 30.3%(目標34.8%)
 - ・市町村推進計画(女活法)策定状況 76.0%(目標88.0%)
 - ・市町村の男女共同参画計画策定状況 96.0%(目標96.0%)

連携団体

【連携体制】

とちぎ女性活躍応援団

【構成団体】

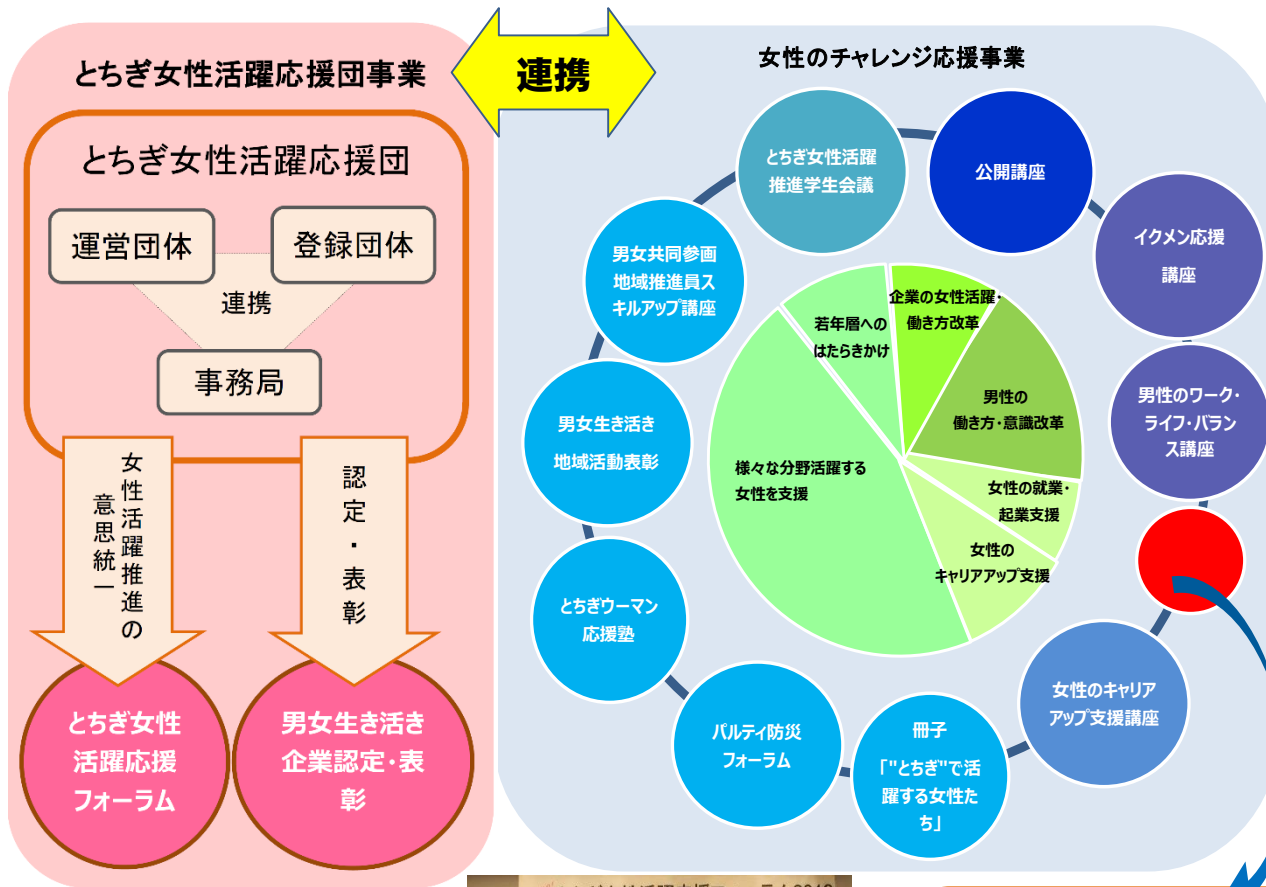
登録企業(R1末:36団体)

運営団体(栃木県経営者協会、栃木県経済同友会、栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会栃木県連合会、栃木県医師会、栃木県看護協会、栃木県社会福祉協議会、栃木県農業協同組合中央会、栃木県農業者懇談会、栃木県林業振興協会、栃木県建設産業団体連合会、栃木県トラック協会、栃木県自治会連合会、栃木県女性団体連絡協議会、宇都宮大学、宇都宮学園 文星芸術大学、足利銀行、栃木銀行、下野新聞社、日本放送協会 宇都宮放送局、栃木労働局、栃木県、栃木県市長会、栃木県町村会、とちぎ男女共同参画財団)

今後の課題

- 「男女生き活き企業」認定数が伸び悩んでいることから、機会を捉えてより一層の事業の周知に取り組むほか、女性活躍応援専用サイト等による認定企業や表彰企業の取組事例の周知にも引き続き取り組んでいく必要がある。
- 働く女性の活躍支援に関する取組を行っている市町村が一部にとどまっているため、当交付金の活用や県や既に取り組んでいる市町村主催の事業のPR等により、市町村における女性活躍推進につなげていく必要がある。

事業の概要



◆とちぎ女性活躍推進学生会議

⇒大学生等対象。講義、企業訪問、提言発表等



◆イクメン応援講座

⇒産後ケア、パパの働き方革命、アンガーマネジメント等

◆男性のワーク・ライフ・バランス講座

⇒時短料理等

◆女性のキャリアアップ支援講座

⇒ネットワーク構築、能力開発、企業訪問等

◆冊子「とちぎ」で活躍する女性たち

⇒県内で活躍する女性を紹介

◆応援団登録数 926団体

◆男女生き生き企業認定数 36社

◆とちぎ女性活躍応援フォーラム

⇒表彰式、学生会議提言発表、表彰企業事例発表、基調講演

とちぎのすべての女性のための活躍応援ナビ
TOCHIGI WOMAN NAVI



とちぎ女性就労支援事業

おしごと
相談ルーム

◆女性の就労相談



専用サイト「とちぎウーマンナビ」で情報発信